

# お茶会だより 2月号

矢島保育園 R6.2.21(水)

来月は、二ある茶組との引き継ぎお茶会を控え、どう組だけで  
行く最後のお稽古となりました。最後という思いで一人一人の  
表情はいつも以上に真剣でした。植田先生からの「導き  
ながらお稽古しましょう」との言葉で子ども達の表情もゆるみ、  
笑顔が見られました。4月の頃を思い出すと「年長さんに  
バトンをお茶会が出来る」「お茶苦いかた」「緊張する」など  
期待と不安でいっぱいでしたが、今では、作五や挨拶を  
考えて進んで自分から動くようになった大きな成長を感じています。

月1回のお茶のお稽古が子ども達にとって待つことや我慢すること  
があるもの。楽しい日...となったことはとても嬉しく思います。お茶会で  
教わってきた姿勢やお箸の使い方も普段の生活で子ども達が  
自分で気をつけて自分で身振り組みをするようになってきたことの1つです。  
教わってきたことを小学校に行っても忘れず、続けてほしいです。

この日は、植田先生の記念撮影。トキドキしながら植田先生のとばりに座する  
子ども達でした。

来月は本当に保育園最後のお茶会となります。一人一人が  
気持ちよく年中さんにバトンを渡せるように、感謝の気持ちを  
こめてお茶をこたえてほしいと思います。

## 【今月の床の間】



《茶花》「ロウバイ・ツバキ」

《掛け軸》  
「ひなだん  
ひしもち  
ひなまつり」



《香合》  
「オシドリ」



こあら組との引き継ぎお茶会を来月に控え、ぞう組だけで行う最後のお茶会となりました。

植田先生からは、「皆さんと一緒に始めた4月からの思いがこみ上げてきます。今日も楽しく作法や挨拶を思い出しながら進めていきましょうね。」との言葉に、様々な思いを感じながら笑顔で答える子ども達でした。

## 【お茶会の様子】



お箸の持ち方が  
上手だね！

美味しかったかな？



今までで一番美味しい！



植田先生、一年間お茶のお稽古、ありがとうございました。  
小学校に行っても「思いやりの心」「感謝の心」「我慢する心」を忘れずに頑張ります。